

1 オプション取引とは？

先物取引が売買の契約であるのに対して、オプション取引は権利を売買する取引です。

オプション取引とは？



check ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

オプション取引とは、ある商品を、将来のある期日（満期日）までに、あらかじめ決められた特定の値段（権利行使価格）で買う権利又は売る権利を売買する取引のことです。買う権利をコール・オプション、売る権利をプット・オプションと呼びます。

① 買う権利

コール・オプション。権利行使価格で原証券を**買うことができる権利**です。

② 売る権利

プット・オプション。権利行使価格で原証券を**売ることができる権利**です。

③ オプション取引の仕組み

オプションの買方は、売方に対し価（プレミアム）を支払い、権利を取得します。売方は買方からプレミアムを受け取ることで、買方に買う権利を与えます。

オプションの買方が買った権利を行使すると、対象とする商品が権利行使価格で手に入るようになります。この時、売方は権利行使に応じる義務があります。

オプションの買方は、権利行使をして原証券を取得することもできますし、反対売買によって差金決済をすることもできます。もし買方が満期日までに権利行使をせず、権利放棄した場合は、その損失は当初支払ったプレミアムに限定されます。オプションの売方は、買方からプレミアムを受け取れますが、**利益は当初受け取ったプレミアムに限定され、損失は無限定**となります。

④ オプションの満期日

オプション取引を行うにあたって、将来のある期日のことを満期日といいます。オプションは、満期日までの権利行使の方法により次の2つに分類されます。

(1) アメリカン・タイプ

満期日以前にいつでも権利行使できるもの

(2) ヨーロピアン・タイプ

満期日のみに権利行使できるもの



⑤ オプション取引の特徴

オプション取引には、以下のような特徴があります。

(1) 現物投資の代替物

現物を買うだけの資金を有していない場合でも、オプション取引を活用することで少額の資金で取引が可能です。売方からみれば、現物の保有なく資金が手に入ります。

(2) レバレッジ効果

少額の資金で大きなリターンをあげることが可能です。

(3) リスクの限定・移転

オプションの買方は、損失がプレミアムに限定されます。売方は、権利行使価格によっては大きな損失を被る可能性があります。売方は、現物の価格変動リスクを、プレミアムを対価として引き受けていることになります。

○×問題

オプションの売方は、当初プレミアムを手に入れる代わりに、将来、権利行使があった場合に応じる義務があり、現物の価格変動リスクを、プレミアムを対価として引き受けていることになる。

正解

○ 売方は、現物の価格変動リスクを、プレミアムを対価として引き受けていることになります。